

コミュニティ・スクール津屋崎中学校 学校通信



令和3年4月21日
文責 校長 清水光朗

《対面式、部活動紹介が行われました。》

4月12日(月)体育館で、在校生が新入生の入学を歓迎し、交流するための生徒会の対面式が行われました。2・3年生が整列して待つ中、新入生が入場し、温かい在校生や先生たちの拍手で迎え入れられました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、入学式に在校生が参加できなかったため、この対面式で、初めて対面し、生徒会長に「歓迎の言葉」を話してもらうことになりました。歓迎の言葉を生徒会長3年1組、西野優華さんが話し、新入生誓いの言葉を1年1組、中島七海さんが話しました。そして、生徒会役員から生徒会活動の紹介として、今年度のテーマ『繋続(けいぞく)～人を繋ぎ想いを未来へ～』の発表や、各専門委員長から専門委員会活動の紹介、体育祭のブロック抽選が行われました。

【歓迎の言葉 生徒会長 3年1組 西野優華さん】

私たち、在校生一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。これから始まる津屋崎中学校での新しい生活に、希望や不安など、様々な思いがあることでしょう。私も、二年前は同じ気持ちでした。そこで、津屋崎中学校で行われる大きな行事を二つ紹介したいと思います。

まず、五月に行われる体育祭です。クラスやブロックに分かれて競技を行います。そのため、本番に向けて何度も何度も練習を重ねるので、クラスやブロックの絆が深まります。体育祭は中学生にとって自分をアピールできる、絶好の場なので、最高の思い出となる行事になるでしょう。

次に、十月に行われる文化祭では、クラスや学年ごとで協力して展示作品を創ります。全校生徒はもちろん、保護者や地域の方々とも、関わる事ができる場となっています。皆で、一つのものを作り上げるので、クラスの団結力がより一層深まります。

ほかにも、宿泊体験学習や修学旅行、職場体験など、楽しい行事が皆さんを待っています。また、皆さんには、部活動や委員会活動、ボランティア活動にも積極的に参加し、先輩や先生方、地域の方々とも交流を深めてほしいと思います。

さらに、最も大切にしてほしいのが、毎日の学習です。中学校では、授業によって先生が変わり、それぞれの教科によって特色のある授業を受けることができます。また、定期考査が一年に四回あります。中学校の試験範囲はとて広く、大変ですが、自分の将来にかかわる大切なものなので、しっかり頑張りましょう。

三年間という、短い時間の中で、壁にぶつかり、悩むことがあるかもしれません。そんなときは、一人で抱え込まず、誰かに相談してください。周りには、皆さんを支えてくれる仲間がたくさんいます。楽しい時も、苦しい時も、共に過ごしてきた仲間と乗り越えたときには、きっと、かたい絆が生まれると思います。また、わからないことや不安なことがあれば、先生方や私たち先輩を頼ってください。必ず力になってくれます。津屋崎中学校は、笑顔あふれる素晴らしい学校です。その誇りのある津屋崎中学校の一員として、皆さんが大きな力となってくれることを期待しています。



生徒会長 歓迎の言葉



新入生の様子



《4月12日(月)、部活動紹介が行われました。》

本校では、先生たちや指導者の方々が、熱心に部活生の指導を行ってくれています。部活動の加入率は、2・3年生で、72%となっています。この日の部活動紹介では、部活動生が各部活動について、一生懸命に説明し、新入生に加入を呼びかけるアピールをしてくださいました。